

# リハビリテーション友の会 元気会 りはとも

平成 30 年 5 月

第 78 号

## ■「元気会・りはとも」とは・・・

リハビリテーション友の会「元気会・りはとも」は、リハビリテーションに取り組む方やそのご家族、医療関係者の“交流の場”をつくり、仲間づくりや情報交換に役立ててほしいと考えています。

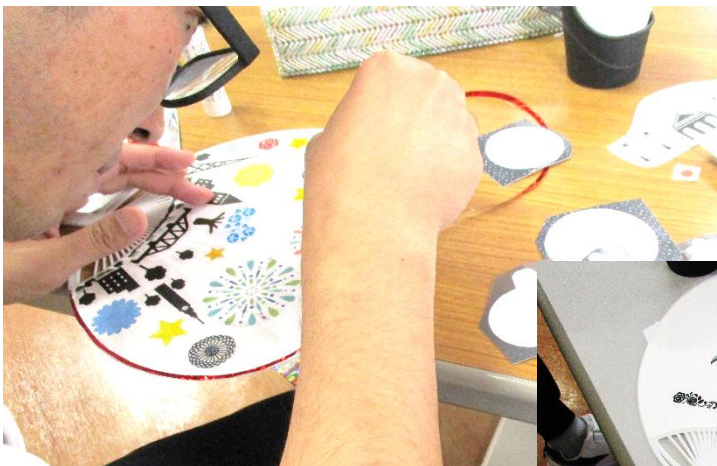
入院中や退院後、「思うように生活が出来ない」、「困っているが誰に話して良いか分からない」、「誰かと話をしたい」などの経験をした方もいると思います。そのような方の力になりたいと願っています。

## ■第78回「元気会・りはとも」報告

✿ ✿ ✿ ✿ ✿ ✿ ✿

第78回のりはともは「うちわを作ろう！」でした(\*^~\*)

これから迎える梅雨や夏本番を自作のうちわで涼しく乗り切りましょう(^◇^)!



シールや切り抜いた折り紙を貼ったり、カラフルな筆ペンで絵や字を書いたりと世界に一つだけの素敵なうちわが完成しました♪

## 【うちわについて】

元々うちわは木製品だけでなく、鳥毛や獣毛・植物などで作られ、現在の一般的な大きさに比べるともっと大きいものでした。古来は風をあおぐ為ではなく、「はらう」「かざす」ためのもので、祈願、軍配、行司、占いなどの儀式のために使われていました。古代中国の記録やエジプトの壁画に見られるものが最も古い記録とされています。今のような竹骨と紙を材料に用いた様式は室町時代後期から見られ始め、江戸時代になって一般大衆に広く普及しました。町人文化と共に炊事や装いの一部として重用されたり、ホテルなどの虫追いに使われました。

明治時代には日本らしい美しい図柄のうちわは海外で人気を集め、外国に輸出されるようになります。商家の配布用としての受容も急増し、企業名や商品の宣伝など広告媒体としての機能も備わりました。

今では古典的な和柄だけでなく、カラフルでにぎやかなものも多く、エコで手軽な暑さ対策としてだけでなく、ファッションやインテリアの一部としても生活に取り入れられています。

また、アイドルや芸能人の応援グッズとしても使われており、うちわを作る機会があった際は、ぜひ自分だけのオリジナルうちわを作って楽しんでみてください♪

## 【事務局からのお知らせ】

### ◆次回のお知らせ

第79回のりはともは「体を動かそう！」です(\*^\*)あいにくのお天気で外出の機会が少なくなるこの時期だからこそ、皆で運動しましょう(^)v

### ◆参加者について

○第78回の参加者の内訳

- |          |     |
|----------|-----|
| ・リハビリ参加者 | 13名 |
| ・ご家族     | 3名  |
| ・医療関係者   | 10名 |

### ◆「りはとも」の活動日

毎月第3土曜日の開催となります。皆様のご参加をお待ちしております!!

### ◆編集後記

湿気が多くなってきたことを、髪の毛の広がり実感するようになってきました。そろそろ新潟も梅雨入りでしょうか。恵みの雨に感謝をしつつ、気持ちはカラッといきましょう(^◇^)

【発行平成30年5月29日】

## リハビリテーション友の会 元気会「りはとも」事務局

〒953-0104 新潟市西蒲区岩室温泉 772-1

(一社)新潟県労働衛生医学協会附属岩室リハビリテーション病院

医療相談室内 担当:前田・地野・金子・北村・目崎

TEL 0256-82-4100 FAX 0256-82-4288